

吉野川の早明浦ダム下流における治水対策の強化

提案・要望先 国土交通省

提案・要望の要旨

吉野川の早明浦ダム下流における治水対策の強化を図ること

【提案・要望の具体的内容】

吉野川の早明浦ダム（独立行政法人水資源機構の管理）の下流では、ダムによる洪水調節が行われているが、ダム運用後も浸水被害が発生している。こうした被害を軽減するため、低い貯水位でも放流できるように施設を改築することなどでダムの治水機能の向上を図るとともに、ダム下流の治水対策を早期に検討・実施するよう要望する。

【提案・要望の理由】

- 早明浦ダムは、昭和50年4月に運用開始され洪水調節が行われているが、運用開始以降33年間で、流入量が計画最大流入量を超える洪水が4回発生し、そのうち2回は計画最大放流量を超える放流を行っており、早明浦ダムの治水機能の向上が必要である。
- 早明浦ダム下流では、ダムの運用開始以降も昭和51年の台風17号や平成16年の台風10号及び台風23号で浸水被害が発生した。

洪水の原因	河川名	床上浸水	床下浸水
昭和51年台風17号（9月）	吉野川本川	21戸	16戸
	地蔵寺川	0戸	3戸
平成16年台風10号（8月）	地蔵寺川	0戸	3戸
平成16年台風23号（10月）	地蔵寺川	1戸	12戸

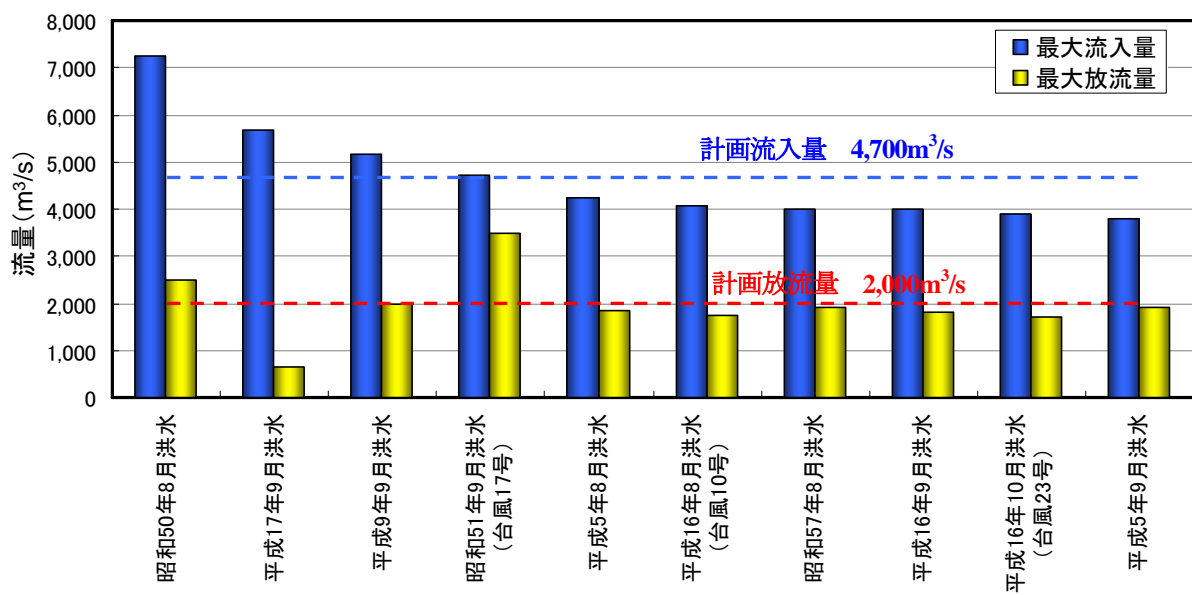
- 平成16年の台風23号の来襲時において、ダム直下流で合流している支川の地蔵寺川の沿川では、本川の洪水位の影響も受けて、住宅の他に国道などで浸水被害が発生している。また、本川の沿川では、地域医療の中核施設である嶺北中央病院が浸水の危機に直面するとともに、下流域の農地に浸水被害が発生している。これらの地域では、治水対策についての地元の要望も強い。

【参 考】

○平成16年10月 台風23号 出水状況（土佐町）

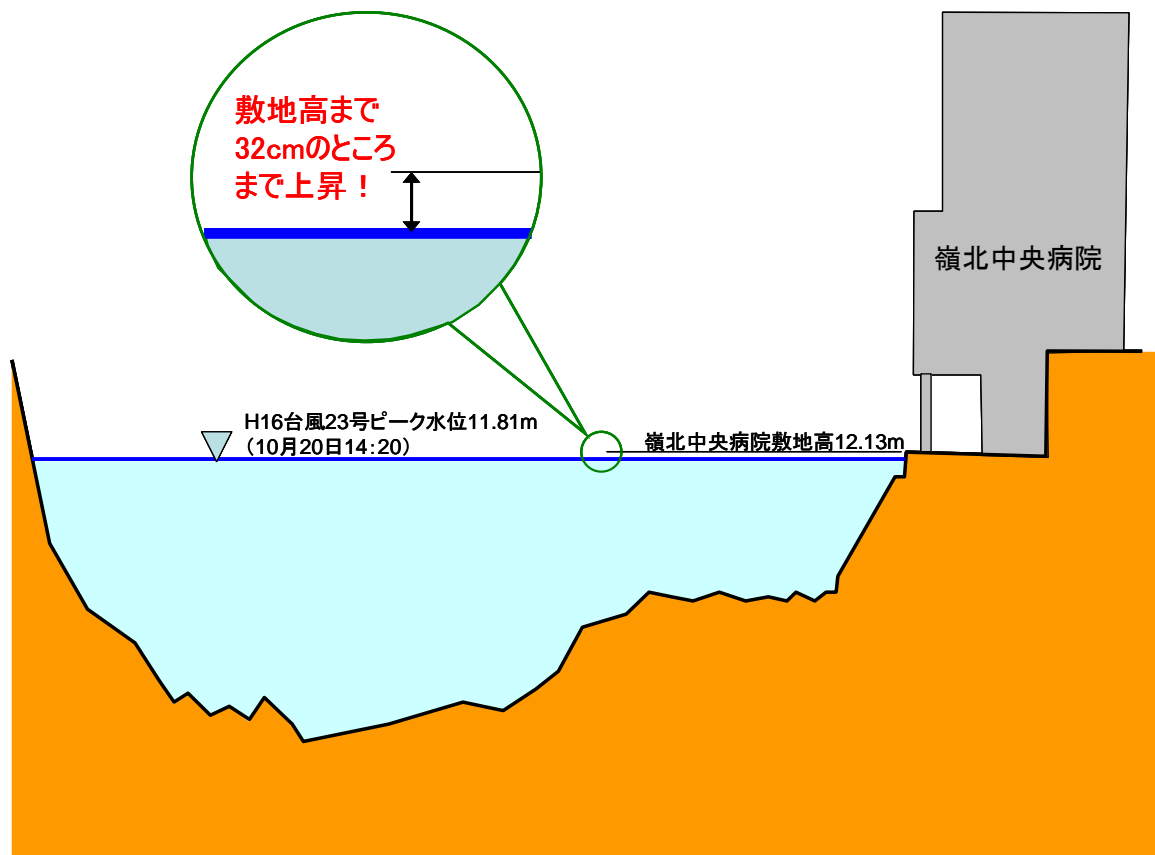


○早明浦ダムの流入放流状況（流入量上位10洪水）



【参 考】

○嶺北中央病院前の河川の状況（H16年台風23号の際、病院が浸水寸前となる。）



【参 考】

○台風23号による出水状況（本山町、嶺北畜産センター付近）



○台風23号による出水状況（大豊町）



【参 考】

○支川地藏寺川の台風23号による出水状況（土佐町）



○地藏寺川合流地点上流の国道439号の浸水状況（土佐町）

